

第1部会【市民協働部門】 会議概要録

【開催概要】

- 名 称：平成26年度 第12回 東区自治協議会 第1部会
- 日 時：平成27年3月10日（火）午前10時～11時30分
- 場 所：東区役所 会議室A
- 出席者：五十嵐委員、大野委員、折笠委員、作左部委員、南委員、
井川委員、湯本委員、佐藤委員、若槻委員、渡辺委員
（事務局）地域課、総務課

【審議内容】

1 平成26年度区自治協議会提案事業の評価

今年度取り組んだ「地域が行う総合防災体制の確立支援事業」について、別紙のとおり評価しました。

2 第1部会委員としての1年間の活動を振り返って

1年間の活動を振り返り、「今後の課題として、自治協議会委員のレベルアップを図る必要がある。」「もっと飛び出ていくアクティブな部会を目指したい。」などの意見が出ました。

平成27年3月25日

区自治協議会提案事業 事業評価書

東区自治協議会

区分	内容
テーマ・事業名	地域が行う総合防災体制の確立支援事業 【事業費予算 3,405千円】
事業目的・概要	【目的】 地域における避難誘導體制の支援と、地域の防災力向上を目的とする。 【概要】 近隣の避難所や避難所までの距離などを掲載した「災害時ひなん誘導看板」を区内に設置する。 ミニワークショップを通じて、地域ごとの防災のあり方、誘導看板の設置箇所等を検証し、地域の防災意識を向上させる。
事業の実施実績 (実施回数、参加者数など)	1) 地域におけるワークショップの実施 対象: 3コミュニティ協議会(東山の下、大形、南中野山) 回数: 8回 内容: 避難経路の確認と避難誘導看板の設置箇所の検討 2) 災害時ひなん誘導看板の設置 対象: 12コミュニティ協議会(8コミ協設置済み、4コミ協設置予定) 枚数: 435枚 3) 避難所の消耗品の充実 29避難所に、ランタン5個、ラジオ1個ずつを購入して設置
事業の評価 (地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など)	1) ワークショップについて ・実施コミュニティ協議会が、12コミ協のうち3コミ協に留まったことは残念である。 ・ワークショップを通じて、地域の実情を知ることができ、また、自治協議会の活動を知ってもらうことができて良かった。 ・ワークショップを実施したコミュニティ協議会は、看板の設置率が高かった。 2) 災害時ひなん誘導看板について ・見る人の視点に立った、分かりやすい看板を考えることができて良かった。 ・設置した看板が時間の経過とともに劣化や毀損等し、看板としての機能を保てなくなった時に、どのように対応するかが課題である。 3) 避難所の消耗品について ・事業を展開していく中で、避難所の消耗品が不足しているという課題を把握し、消耗品の充実を図ることができて良かった。 4) 全体を通じて ・東日本大震災を機に防災に対する関心が高まっている中での当該事業は、地域の防災力向上に寄与することができた。 ・コミュニティ協議会の中で温度差があったことは、コミ協と自治協議会委員の連携不足、また、コミ協と自治協議会が協働で問題を解決するという意識の低さの現れだった。 ・今後も、コミュニティ協議会の会長との意見交換会を実施し、コミ協との連携を図りながら事業に取り組んでいきたい。
備考	